

# ふれあい

第18号

平成27年3月22日  
十日町市身体障がい者福祉センター

## 冬季交流会(つどい)開催！！

(今回の題字は村山宏さんです)

障がいを持たれる皆さんの憩いの場として開設されて以来、たくさんの方に参加いただき、たいへん好評をいただいております。



ミニ玉入れゲーム



ジャンケンたいてかぶって



マジック村山様



歌声ひろば

1月30日(金)

今回の交流会は、自己紹介から始まり、ゲームによるたくさんの笑い、午後は、村山様による楽しいマジックショーと、「懐メロ歌声ひろば」と題して、賑やかに歌ったり踊ったり…和やかな交流会となりました。



## 春を呼ぶ「つどい」開催！

2月27日(金)

樋口由佳里トリオ様  
全国で定期演奏会を開催されるほど著名な音楽家の皆さんです。



第一部



第二部

「早く暖かい春が来ないかな～！」という思いを込めて、春を呼ぶ「つどい」を開催しました。第一部の「樋口由佳里トリオ」コンサートでは、昨年大ヒットした「レット・イット・ゴー」をはじめ、5曲を披露され、素晴らしく迫力のある歌声と演奏に皆さん聞き入り、癒しのひとときを過ごしました。第二部の「センターin のど自慢」では、のど自慢のテーマから始まり、フライパンの鐘の音で、大いに盛り上がり、笑い声が響き渡りました。春が少し近づいたようです。(FMとおかまちで放送されました。)

利用者様の声…「つどい」は毎回とても楽しくて、たくさん笑い、元気になれます！

# 創作活動

## 1月 毎年恒例…ちんころ作り

子犬をはじめ、今年の干支の羊…  
「これは何だ?!」オリジナルのちんころ作りに夢中!

福を招き、厄を祓う!



## 十日町雪祭りに参加!

## 2月 雪像づくり・卓上カレンダー



犬・雪んこ・ひつじ(ちんころ)の雪像。  
犬のマフラーは、着物の端切れをつなげて。  
なんとも、かわいらしい雪像を見て、皆さん  
ほっこり笑顔です!!

昨年好評だった卓上カレンダー!  
利用者様のリクエストもあり、今年は  
センターでの活動写真入り。更に好評  
でした。

## 季節感を味わう



あかりをつけましょ  
ほんほりに♪  
おほなをあげましょ...

## 3月 おひなさまパネル



年間を通して手先の機能訓練を目的とする貼り絵で、パネルを制作しました。「観光地でよく見るよね!」と、うれしはずかし…ハイ!笑って!

# 市内散策

例年、外出の機会がなかった12月…寒い冬でも積極的に外に出て、元気快復！大勢の方の参加がありました。



## 道の駅 クロステン

カフェレストラン(ユキマツリ)にて昼食！旬の野菜、魚をいただきました。お土産屋を回り、大きなつるし雛を撮影したり、キナーレ内を散策！



## ベルナティオ

福島松二様によるハーモニカ演奏を聴きながら、豪華なランチをいただき優雅なひとときを過ごしてきました。

「近くにいなながら、なかなか来る機会がないからよかった！」と喜んでくださいました。

\*\*\*\*\*

# 教室紹介(手芸)

手芸教室 講師

十日町服飾専門学校 関口 けい子

手芸教室の紹介をさせていただきます。一言で言って、とても明るい教室です。年齢差は多少ありますが、同級生のように接していますので、雰囲気はとても和やかです。

手芸といっても、様々な種類がありまして、パッチワークから刺繍、編み物、袋物等幅広くあります。その中で自分がやってみたい物を手掛ける人もいて、それぞれがやってみたい物をするという形で進めています。

一年を通して作品展があります。それを目標にはしますが、あまりこだわらないで自分のペースに合わせて完成させるようにしています。作る過程も楽しいですが、出来上がると喜びが倍増します。又、他の人の作品を見るのも参考になりますし、次の意欲につながります。「明るく」がモットーの教室ですので、世間話にも花を咲かせながら、楽しくやっていければと思います。

## 利用者様の声…

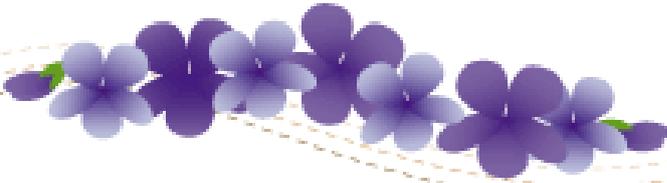
関口先生には、開設当初からお世話になっています。自分で出来そうな物を選んで制作しています。苦勞もたくさんありますが、センターに来ることがとても楽しみです。職員の皆さんとおしゃべりをしたり、笑顔を見るのも楽しみです。

I・M

3年前からセンターに通っています。スウェーデン刺繍をやっています。根気のいる作業ですが、出来上がった時の喜びは大きいです！他の利用者さんや関口先生と、毎回楽しくやっています。

S・S

## 退任挨拶



平成 27 年 3 月 31 日

十日町市身体障がい者福祉センター  
センター長 江村 久

平成 21 年 4 月から平成園と身障センターを兼務して、そして 24 年 4 月から身障センター専務のセンター長として 6 年間お世話になりました。この間、身障センターでは様々な出来事がありましたが、何より活気ある活動が映えた数年間が印象に残ります。

さて、皆さんからは賑やかなことが好きな、セッカチな鼠のように動くセンター長と思われたと思います。私は身障センターのイメージを明るくしたい！この事を常に考えていました。今日、心のバリアフリー・ノーマライゼーションなど、専門用語だけが一人歩きする環境にはありません。障がいという言葉から障がい福祉サービス事業所には意味のない暗いイメージがありましたが、福祉環境が一変する中では、障がいを持たれる皆様が自らノーマライゼーションに参加する積極性が何より必要と考えたからです。楽しかった遠方外出と賑やかな交流会・つどい。そして年間を通じたセンターの積極的社会参加など、皆様の明るい笑顔と活動が塚原町のイメージを変えたと感じませんか。

今、十日町市身体障がい者福祉センターは県下・全国でも有名な文化団体と知られています。これはセンターご利用者の日頃のご活躍に対する評価であり、そして積極的な社会参加、貢献活動は、地域におけるセンターの知名度を格段に向上させることとなりました。このことは地域内の障がいを持たれる多くの皆さんにも喜ばしいことで、共生社会を目標とする障がい福祉の大きな牽引力となります。

どうかこれからも、身障センター利用の目的を明確に、そしてより積極的な社会参加を。更に地域への情報発信を通して今後とも、明るく活発な活動を地域にアピールしていただきたいと思います。

退任にあたり、新しいセンター長を迎える身障センターを今後ともご支援、ご協力賜りますようお願いいたしまして、お別れの挨拶とさせていただきます。有難うございました。

江村センター長…66歳にしてジーパンの似合うロマンスグレーのダンディー男！家庭では、どんな夫、父親、おじいちゃんかは知らないが、センターでの仕事っぷりを見る限り、私達の理想の男性である。まだまだこれから先、何かしようと企んでいるに違いない…

身障センター職員一同応援します！もっと早く出会いたかった…

本当にありがとう！ お元気で…



ふれあい 18 号制作 小宮山